

# 安心して下さい！ 防災やっていますよ！

阪神・淡路大震災から21年、東日本大震災から5年、この間にも多くの自然災害が発生しました。「災害」は絵空事では無く、自分の所にも実際に襲ってくる可能性があることを知ることになり、防災活動への関心や防災意識といった「防災」という言葉そのものに関心が高まったのです。でも「防災とは？」本当のところ、何をすれば良いのかは21年経った今でも理解できていないのが現状です。

全国各地では様々な防災講座や防災講演会が開かれています。しかし、私の考える防災とは少々違うように思います。例えば「災害って何だ」「災害が発生した後はどうすれば良いのか」「地震はどうやって起こるのか」「津波が発生すればどうするのか」「地震の揺れからどう身を守るのか」「水害発生時にはどうすれば良いのか」、更には災害因（災害の原因）を特定もせず一様に「あなたの避難所は」と防災マップ作り、挙げ句の果てには「家屋の耐震工事は誰に頼むのか」「補助金がでるので耐震工事をしましょう」「災害発生後に必要な備蓄品や防災用品」等と命を守る活動を通り過ぎて、セールスになっている講座すら見受けられます。確かに防災講座や講演会では多くの有用な情報も得られるのも事実ですし、耐震補強や備蓄品の買い揃えも大切なことです。でも「命を守ることでできる人づくり」には、どうも繋がらない気がします。



全国的な現状は、参加者がいつも一緒に、参加者が少ないので責任出席、特に講座・講演会の内容が「地震の起こるメカニズム」という物理や地学的なものだと、どうも自分の日常生活に繋がらず「だから何？」となってしまっています。

地域の防災訓練では、通報・初期消火・救助・避難訓練。実際に避難所まで歩いたり、災害時要援護者と呼ばれる人と接したりしながら、イザという時の動きを実際に確認等が行われています。でも参加者の顔ぶれがいつも一緒に少人数。「命を守る学び」であるにもかかわらず「防災活動が拡がらないのか？」。

どうして防災講座・講演会・訓練等の防災活動に参加する人が少ないのか？同様の現象が全国各地で起こっています。それは、防災に熱心な人が難しい顔をして眉間にしわを寄せながら「防災訓練に出てこない。どうなっているのだ！」と腹を立て、怒りをまき散らす方を見かけます。地域内でこの状態だと防災訓練に参加しなくなったとしても、敷居が高く感じてしまうのではないのでしょうか。確かに「防災」とは命に関わる重大な活動です。しかし「重大な活動であればこそ

人々は参加するはず。参加するのは当たり前だ」と考えるのは、あまりにも単純な発想です。

「何に腹が立つのでしょうか？」防災活動に出てこない人には、2種類の方がいることを理解しましょう。ひとつは「参加したくても都合や事情があり参加できない人」、もうひとつは「防災活動に興味もわかず、必要性もさほど感じていない人」です。「バカヤロウ！防災活動は重要なもので参加するのは当たり前だ！」とお叱りの声が聞こえてきそうです。

では皆様にお尋ねします。「日々生きていく為の重要項目を5つ挙げて下さい」あなたは何と答えますか？



「衣・食・住・排泄」＋「仕事や家庭」。その中には「仕事は休めない」「休みは身体を休めたい」「小さな子どもをかかえての子育て中」「受験生がいる」「介護が忙しい」「休日は家族で遊びたい」等、「防災」なんて出てこないのではないのでしょうか？生きるための重要な5項目にすら出てこない「防災」。そんな防災講座、講演会や訓練には絶対参加すべきだと強制するのは、人の事情も判らず、日々の多様な暮らしを完全に無視した考えではないのでしょうか？

いくら命に関わる活動といっても、このような考え方は、どこか暮らしの感覚からずれて現実味を欠いたものになっているから参加者が増えないのです。その原因は、企画や主催する伝え手側が「防災とは何か」を定義できていない為に発生する「全国共通防災お困り事」なのです。だから大災害が発生して一時的に高まる防災意識も継続できないということになります。

近年、防災活動そのものにもある程度見直しが行われてきました。「楽しくて参加しやすい防災活動」が行われています。ワークショップ、クイズ、ゲームと様々な工夫され「家族でも楽しめそうな防災イベント」があります。でも「楽しく防災」とはいえ、「防災」の文字から離れることができないのも現実です。

もっと日々の暮らしの延長線上に潜ませるしただかな防災活動「後で考えれば、これって防災だよ」となるようなものを考える必要があります。今更ながら「防災」とあらためて掲げる必要すらないのではないのでしょうか。「人の関心を引く、心根をくすぐる」楽しく面白い企画をつくり参加者を増やす「工夫」が必要です。ヒントはグリーンシティ防災会が掲げる「防災を防災と語らずとも防災の役割を果たすこと」の実践です。



そのひとつに日常の中での「あいさつ運動」があります。簡単な挨拶がお互いを守りあえる組織になります。でも「あいさつが防災？」と思われるかもしれませんが。そんな時、みなさん胸を張って言ってください「安心して下さい！これも防災訓練です！」つづく